

国内ベストダイビングエリアに石垣島が5年連続1位

国内で高い発行部数を誇るダイビング雑誌「マリンダイビング」、「マリンフォト」、「海と島の旅」の共同企画による「ダイブ&トラベル大賞2005」で石垣島が国内ベストダイビングエリアに5年連続で1位に選ばれました。

同企画は2000年からスタートし、国内のダイバーとマリンレジャーを楽しむ読者が、投票はがきなどにより各部門を選出。これにより選出された場所等は、ダイビングやリゾート旅行で人気のある場所とされており、同誌の読者への影響は大きなものがあります。

石垣島が5年連続で国内ベストダイビングエリアに選ばれたことは、観光立市の石垣市にとっては大きな誇りとなるもの。同企画では同時に様々な部門の選出も行っており、国内ベストダイビングリゾートにクラブメッド・川平(2位)、石垣全日空ホテル&リゾートホテル(5位)、シーマンズクラブリゾートホテル(7位)、国内ベストダイビングサービス(ダイビングショップ)にブルーウォーター・ダイバーズ(6位)、シーマンズクラブダイビングサービス(8位)、またベストダイビングガイドに那須弘幸さん(4位)が上位に選ばれるなど、ダイビング関係者も高い評価を受けています。

また、これから行きたいエリアの国内3位に選ばれており、ますます石垣島が注目を集めていくこととなりそうです。



南の島の星まつりが第9回イベント大賞優秀賞に選ばれる

知名度アップと地域住民との連携が評価される

財団法人地域活性化センターと全国58新聞社の共催で実施する「第9回ふるさとイベント大賞」に「南の島の星まつり2004」が選ばれました。全島ライトダウンにより天然資源である「星」を最も美しい形で見るとユニークな試みと、地域の知名度アップやイメージ向上に貢献している点や、全島挙げてイベントに協力していることなどが評価されました。

4月11日に開催された平成17年度地域活性化フォーラムで主催者を代表し、大濱長照石垣市長、通事安夫NPO八重山星の会会長が表彰されました。

同大賞は平成8年度から実施されており、今年度は全国から136点の応募の中から大賞に次ぐ賞に選ばれました。天体観望を中心とした「星まつり」イベントの受賞は、全国初のことです。



STOP・THE・赤土

平成16年度赤土流出防止に関するポスター・標語



みんなでいっしょに赤土たいさく
サンゴや魚たちもおおよろこび!!

←(小学生の部最優秀賞)
宮良小六年 成底美久さん

(小学生の部最優秀賞)
伊野田小三年 前盛よもぎさん

市役所のおまわりさん

4月1日、沖縄県警から派遣された沖山秀彰氏へ大濱長照市長より辞令が交付されました。

平成15年度から県警より現職警察官大城辰男氏が派遣を受けておりましたが、今年度から八重山警察署地域課長を努めていた沖山氏が後任として派遣されました。辞令交付で大濱市長は「交通安全対策を主に活躍していただきたい」と期待を表し、沖山氏は「県警で常に出身地である石垣市を思いながら勤めてきた。安全・安心な住みよいまちづくりをしていきたい。」と抱負を話しました。石垣市では平成15年に石垣市交通安全条例を定め、市民の交通安全対策に積極的に取り組んでおり、同氏の活躍が期待されます。

